

# 事業報告書

【第7期】

2019年度

自：2019年4月 1日

至：2020年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

## 事業報告書 目次

I. 事業の概要.....	2
1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動.....	2
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動.....	5
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動.....	7
II. 理事会・評議員会に関する事項.....	13
III. その他.....	14
IV. 後発事象.....	14

## I. 事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字は文化の伝達と進展を根幹で支えてきました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通じて日本文化の発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、本年度も国内および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

### 事業（定款第4条1項）

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（1）～（6）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

#### （1）漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

日本語・漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の学びの動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する情報の収集や発信、展示を通して漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学ぶことのできる「漢字ミュージアム」を運営しました。

本年度の来館者数は81,477人でした。

- ①開館日数：301日（臨時休館日数：20日＊台風の影響1日、新型コロナウイルス感染症の影響19日）
- ②開館時間：午前9時30分～午後5時
- ③休館日：原則、毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始
- ④利用料：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障害者
個人	団体	個人	団体	個人	団体		
¥800	¥700	¥500	¥400	¥300	¥200	無料	無料

\*団体は20名以上（団体引率者は10名につき1名免除）／障害者の介護人（1名）免除

#### ○割引・特典制度

- ・修学旅行・課外学習グループ割（2名以上のグループ）
- ・小中高生1名以上と同伴している大人の割引（2名まで）
- ・年間パスポート（発行日から1年間有効）

大人	大学生・高校生	中学生・小学生
¥2,500	¥1,600	¥1,000

#### ⑤ワークショップ・講座・講演会の実施

漢字学習をテーマとしたワークショップや講座・講演会等を実施。来館者のうち、5,918名が受講しました。

## ⑥企画展の開催

常設展示だけでなく、期間限定の企画展（入館料のみで観覧可能）も5企画開催しました。

- ア) 「名づけの『へえ〜』展」 4月9日～6月30日 18,226名
- イ) 「漢字で忍者修行」 7月2日～9月29日 31,623名
- ウ) 「フォントのホント展」 10月1日～1月5日 20,697名
- エ) 「今年の漢字展～今年の漢字25周年～」 10月8日～2月16日 25,035名
- オ) 「『カンジムジカ』音と愛と漢字に溺れる、音とアートの企画展」 1月10日～4月5日  
7,634名（7,593名 3月31日まで）

## (2) 機関誌の発行

日本語・漢字学習に資する情報誌として、日本語・漢字に関する様々な記事を掲載した「漢検ジャーナル」を発行し、学習者・保護者・教員をはじめ、一般の方々に無料で配布しました。

- 「漢検ジャーナル V o 1.27」(2019年 6月1日発行) 発行部数 52.3万部
- 「漢検ジャーナル V o 1.28」(2019年 10月 1日発行) 発行部数 49.3万部
- 「漢検ジャーナル V o 1.29」(2020年 2月1日発行) 発行部数 67.1万部

## (3) Webサイトの拡充

- ①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア®」 <https://www.kanjipedia.jp/>

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、無料で漢字・日本語を検索できるサイト「漢字ペディア」を運営しました。このサイトは『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに制作したもので、角川「新字源 改訂新版」と連携して漢字のなりたち情報も付加しています。パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句をいつでも検索することができ、また、インターネット辞典「goo 辞書」とも連携をはかっているため、同辞典で漢字を検索すると「漢字ペディア」の情報が表示されるようになっています。6,007万pv/年間

- ① 漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ®」 <https://www.kanjicafe.jp/>

漢字および日本語への興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」を運営しました。『漢検ジャーナル』等で当協会が発信したコンテンツはもとより、巷の漢字・日本語に関する情報を集めて発信していく情報サイトであり、身近な言葉に関する話題から少し学術的な話題までを分かりやすく伝えています。年間記事登録数 101件 47万pv/年間

## (4) 漢字文化啓発イベント

- ①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意義を再認識していただく機会として、1995年から毎年実施している行事です。毎年11月に、全国からその年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を12月12日の「漢字の日」に清水寺（京都市）の森清範貫主の揮毫により発表しています。本年は、応募総数 216,325票のなかから「令」が 30,427票（14.07%）を集めて1位となりました。

2019年度は『今年の漢字®』の25周年を記念し、2019年9月16日に東京大学で「漢字の魅力～「今年の漢字」25周年記念シンポジウム～」を開催しました。

- ②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストと

して全国から広く作品を募集しました。7回目となった今回は、「小学生部門」に13,539作品、「中学生部門」に16,303作品、「高校生部門」に10,677作品、「大学生・一般部門」に2,869作品、また「その他」として2,994作品、合計46,382作品の応募がありました。その中から以下60作品を入賞作品として決定しました。

<賞区分>

・絆大賞(各部門につき1作品)	計 4作品
・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき1作品)	計 4作品
・審査員賞(各部門につき3作品)	計 12作品
・佳作	計 40作品
	合計 60作品

応募のあった「贈りたい漢字」は計1,713字でした。

4部門を合計した「贈りたい漢字」は、「感」が最も多く、順に「謝」「笑」「楽」「優」「愛」「友」「幸」「生」「好」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	小学生部門	中学生部門	高校生部門	大学・一般部門
1位	優	感	感	謝
2位	笑	謝	謝	愛
3位	楽	笑	笑	笑
4位	感	楽	愛	幸
5位	友	優	楽	生

なお、昨年第6回の受賞作品を冊子化(70,000冊)し、全国の小・中・高校と教育委員会ならびに公立図書館に寄贈しました。

(5) 漢字まなび活動助成

日本全国における漢字学習の振興を目指して、当協会以外の団体が行う、地域の漢字学習の振興に寄与する活動に対して、その活動費用の一部を助成する制度を、平成29年度より開始しました。活動1件あたりの助成金額は、活動に係る予算の二分の一以下かつ上限30万円としてホームページで公募した結果、本年度は、7団体9件の活動に対して助成しました。

(6) 支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢検の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

【本年度の対象および支援者数】

・要保護児童生徒(義務教育課程在籍者)無償受検	延べ331団体	974名
・児童自立支援施設無償受検	延べ138団体	2,189名
・児童養護/児童心理治療施設への学習教材の無償提供	延べ187団体	4,678冊

## 2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面からも研究する漢字文化研究や、日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動ならびに日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

### (1) 漢字文化研究

#### ①漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究・調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され、有望視される学究に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。本年度は7名9点の論考が寄せられ、以下3名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第10号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最優秀賞	該当なし	
優秀賞	石山 裕慈 神戸大学大学院人文学研究科 准教授	日本漢字音における「一字複数音」の歴史
佳作	中野 直樹 常葉大学短期大学部 助教	『高僧伝』の古訓法について —伝記類訓読の一例—
佳作	劉 鮮花 一橋大学大学院言語社会研究科 博士後期課程五年生	漢字統一会に関する一考察 —清国と韓国の反応を中心として—

#### ②日本漢字学会

学術団体「日本漢字学会」は、当協会が漢字文化研究のより一層の振興をはかるために全国の研究者に呼びかけたことがきっかけとなって、平成30年3月29日に発足し、当協会漢字文化研究所が学会の事務局機能を担っています。11月30日～12月1日には第2回研究大会を東京大学で開催しました。研究大会では口頭発表10編、ポスター発表1編の研究発表があったほか、シンポジウム「字体と造字法の創造力—漢字文化圏の周辺部より問う—」と記念講演会「エスニック・マイノリティを巡る漢字の学習と教育—香港の小中学校の事例を通して考える—」が開催され、2日間で会員・一般の方あわせて延べ約300名が参加しました。

### (2) 日本語・漢字教育研究

#### ①漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行っています。本年度は、7件の応募をいただき、選考委員会による審査の結果、1件が採択となりました。

所属機関	研究（代表）者	研究題目
国際教養大学	樋渡 康敬	認知特性を活かした漢字学習法の研究 (研究助成期間：2020年4月～2022年3月)

②検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

- ・受検結果データの調査分析（読み・書きの正答率調査等）
- ・受検者の誤答傾向の調査

③漢字・日本語学習に関する学際研究

京都大学と以下2つのテーマに関する共同研究プロジェクトを平成29年度に開始し、当初の計画である研究期間3ヵ年が終了しました。なお、両テーマとも2020年・2021年度の2ヵ年を追加研究期間として、さらなる研究成果を導く予定です。

ア) 漢字能力が脳機能の発達・維持におよぼす効果の科学的検証

「高い漢字能力」を身につけ、さらに維持することの重要性を、学習期（学童期～青年期）と能力維持期（老年期）の2層を対象にした脳の研究によって科学的に証明することを目的として研究を進めました。成果として、「音韻」「意味」「書字」の3因子モデルによる漢字能力の神経科学的解明や、漢字が認知症の抵抗因子であることの学術的証明を導きました。

イ) 人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究

検定等を通じて蓄積されたノウハウや膨大な手書き文字データを分析し、漢字の適切な使い方や文章力向上に資する学習システムを構築、学習指針を提供することを目的として研究を進めました。成果として、AIを活用した漢字認識技術や、コンピュータによる文章理解と人間による読解との両方での活用を目指す基礎的データを導きました。また、言語処理学会第26回年次大会（2020年3月16日[月]～3月19日[木]／WEB開催）にて論文を発表しました。

### 3. 日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、研修会、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

#### (1) 「日本漢字能力検定」の実施報告

##### ①検定級および検定料

1級：5,000円 準1級：4,500円 2級：3,500円 準2級・3級・4級：各2,500円  
 5級・6級・7級：各2,000円 8級・9級・10級：各1,500円

##### ②実施日

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	2019年6月16日(日)	1～10級	2019年6月14日(金)	2～10級
			2019年6月16日(日)	2～10級
			2019年6月29日(土)	2～10級
			2019年7月12日(金)	2～10級
第2回	2019年10月20日(日)	1～10級	2019年8月21日(水)	2～10級
			2019年10月18日(金)	2～10級
			2019年10月20日(日)	2～10級
			2019年10月26日(土)	2～10級
第3回	2020年2月16日(日)	1～10級	2020年1月17日(金)	2～10級
			2020年1月31日(金)	2～10級
			2020年2月8日(土)	2～10級
			2020年2月16日(日)	2～10級

##### ③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	174	161	177	512
準会場	12,456	15,759	12,996	41,211
合計	12,630	15,920	13,173	41,723

##### ④漢検 CBT (Computer Based Testing)

通常年3回13日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数	志願者数
公開会場	208	34,333
準会場	67	1,665
合計		35,998

## ⑤志願者数・受検者数・合格者数

2019年度の志願者数は1,903,182人でした。回・級ごとの内訳は次のとおりです。

## 2019年度総計

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	3,857	17,615	157,828	282,256	457,588	241,099	199,255	119,777	119,294	119,271	101,952	83,390	1,903,182
受検者数	3,266	15,020	148,254	272,683	443,218	232,612	192,272	116,006	115,694	115,048	98,474	79,304	1,831,851
合格者数	262	2,328	31,599	91,169	200,763	120,301	141,982	92,649	100,244	97,273	89,632	75,351	1,043,553
合格率(%)	8.0%	15.5%	21.3%	33.4%	45.3%	51.7%	73.8%	79.9%	86.6%	84.5%	91.0%	95.0%	

1級～10級平均合格率 57.0%

## 第1回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,370	5,799	55,540	94,937	142,751	73,655	65,168	30,340	29,749	30,243	24,993	20,587	575,132
受検者数	1,191	4,946	52,817	92,894	139,832	71,927	63,300	29,413	28,887	29,269	24,176	19,684	558,336
合格者数	93	760	9,521	26,956	62,873	37,858	47,011	23,574	24,962	24,748	22,239	18,897	299,492
合格率(%)	7.8%	15.4%	18.0%	29.0%	45.0%	52.6%	74.3%	80.1%	86.4%	84.6%	92.0%	96.0%	

1級～10級平均合格率 53.6%

## 第2回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,225	5,385	48,366	97,513	181,203	88,977	60,198	32,802	32,188	30,916	26,273	19,726	624,772
受検者数	1,024	4,605	45,049	93,759	175,245	85,673	57,846	31,678	31,134	29,517	25,195	18,530	599,255
合格者数	107	615	9,997	32,537	80,166	43,271	40,191	24,403	26,838	24,595	22,493	17,369	322,582
合格率(%)	10.4%	13.4%	22.2%	34.7%	45.7%	50.5%	69.5%	77.0%	86.2%	83.3%	89.3%	93.7%	

1級～10級平均合格率 53.8%

## 第3回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,262	6,431	53,922	89,806	133,634	78,467	73,889	56,635	57,357	58,112	50,686	43,077	703,278
受検者数	1,051	5,469	50,388	86,030	128,141	75,012	71,126	54,915	55,673	56,262	49,103	41,090	674,260
合格者数	62	953	12,081	31,676	57,724	39,172	54,780	44,672	48,444	47,930	44,900	39,085	421,479
合格率(%)	5.9%	17.4%	24.0%	36.8%	45.0%	52.2%	77.0%	81.3%	87.0%	85.2%	91.4%	95.1%	

1級～10級平均合格率 62.5%

※志願者数には、漢検 CBT 志願者および当協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により受検を次回実施日に繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

## ⑥資格活用状況調査

全国の大学・短期大学、専修学校、高等学校における「漢検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「漢検」を活用している大学・短期大学、専修学校、高等学校に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数
大学・短期大学	1,074校	1,044校	615校
専修学校	2,754校	1,970校	623校
高等学校	5,579校	5,131校	4,315校

## ⑦成績優秀者表彰

「漢検」において、漢字学習に取り組んでいる人の努力を称え、さらなる学習の励みとしていただく目的で、受賞者・受賞団体を選考しました。本来であれば、5月2日（土）に成績優秀者表彰式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2019年度の成績

優秀者表彰式は中止しました。

受賞者の内訳は次のとおりです。

本年度は、個人賞として 205 名と 6 組の家族に、団体賞として 385 団体に各賞を授与しました。

#### 個人賞

◇日本漢字能力検定協会賞	1～10 級	合計 36 名
◇全国検定振興機構理事長賞	1～10 級	合計 36 名
◇優秀賞	1～10 級	合計 36 名
◇奨励賞	1～10 級	合計 94 名
◇特別賞		
<個人の部> 級を問わず年間での最高齢合格者		1 名
1 級・準 1 級各級の最年少合格者		2 名
<家族の部>		6 組

#### 団体賞

◇日本漢字能力検定協会賞	4 団体
◇最優秀団体賞	20 団体
◇優秀団体賞	101 団体
◇奨励賞	160 団体
◇特別賞	100 団体

#### ⑧各種表彰制度

##### ・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、合格証書・合格証明書・検定結果通知に加えて「満点賞」の賞状を授与しました。当年度の授与者は延べ 39,355 名でした。

##### ・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は 5,742 件でした。

##### ・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1 日程の志願者数 80 名以上または年間累計志願者数 80 名以上の条件を満たした希望団体 877 団体に 1,266 セットを送付しました。

#### (2) 「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実施報告

2017 年度より実施形式が従来の P B T (Paper Based Testing) から C B T (Computer Based Testing) に移行しています。

##### ①実施日

各テスト会場の開設日時に応じて随時

##### ②実施地

国内：27 都市 33 会場

海外：18国／地域 60会場

② 受験料 4月～9月 6,999円（税込、日本国内） / 10月～3月 7,000円（税込、日本国内）

④志願者数

	志願者数
国内	3,326名
海外	1,716名
総計	5,042名

(3)「文章読解・作成能力検定」の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を実施しました。

①検定級および検定料

2級：4,000円 準2、3級：3,000円 4級：2,000円

②実施日

公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
2020年2月16日（日）	2～4級	2019年 8月 29日（木）	準2～4級
		2019年 10月 26日（土）	準2～4級
		2019年 11月 8日（金）	2～4級
		2020年 1月 22日（水）	準2～4級
		2020年 2月 15日（土）	準2～4級
		2020年 2月 16日（日）	2～4級

③会場数

	第1回	第2回	計
公開会場	0	2	2
準会場	221	175	396
合計	221	177	398

④志願者数・受検者数・合格者数

令和元(2019)年度総計

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	699	6,202	12,990	8,890	28,781
受検者数	652	5,978	12,562	8,430	27,622
合格者数	336	3,548	9,091	6,741	19,716
合格率(%)	51.5%	59.4%	72.4%	80.0%	

**2級～4級平均合格率 71.4%**

⑤文章力テストの実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受検できる文章力テストを実施し、7,108人が受検しました。

## ⑥資格活用状況調査

全国の大学、短期大学における「文章検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「文章検」を活用している大学、短期大学に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次の通りです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数
大学・短期大学	1,074校	1,043校	454校
専修学校	2,754校	1,970校	251校

## (4) 学習支援講座

## ①漢検生涯学習ネットワーク研修会

漢検1級・準1級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。本年度で会員数は10,200名に達しました。会員向けの通信を年3回発行（ホームページでも公開）し、研修会を3回開催しました。

## 第24回研修会

日時：2019年4月7日（日） 13:30～16:30

場所：東京都・フクラシア東京ステーション

講演：「昭和の初めごろ、ラジオでは漢語をどのように扱っていたのか」

塩田 雄大氏（NHK放送文化研究所）

参加者：111名

## 第25回研修会

日時：2019年7月21日（日） 13:30～16:30

場所：長野県・JA松本市会館

講演：「『国語科』誕生以前の漢字教育」

和崎 光太郎氏（浜松学院大学短期大学部講師）

参加者：11名

## 第26回研修会

日時：2019年11月17日（日） 13:30～16:30

場所：京都府・漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）

講演：「漢字文化の原動力を考える」

阿辻 哲次氏（漢字文化研究所所長）

参加者：67名

## ②漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成するため、「漢字教育サポーター育成講座」を希望者向けに開講しました。講座は立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が主催する「漢字教育士」認定講座のカリキュラムに基づいたWebでのビデオオンデマンド講座で、1年間に4科目、全80時間の講義の視聴と確認テストを行い、合格者66名を第8期修了者として認定しました。

## ③漢字教育サポーター紹介制度

漢検の上位級（1級・準1級）の合格者で、一定の専門的知識を有している者（「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者）を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介

する学習支援活動を行いました。紹介実績 51 件。

漢字教育サポーター登録者数：605 名（1 期～7 期合計）

(5) 教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 漢字学習ステップ」「漢検 過去問題集」「文章力ステップ」ほか

・・・・・・・・1, 129, 538 冊

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢検 漢字辞典」「漢字学ことはじめ」「マンガで体験！にっぽんのカイシャ」ほか

・・・・・・・・14, 745 冊

**合計 1, 144, 283 冊**

また、上記の有料の教材や参考書だけでなく、無料で利用していただける教材も制作し、教育現場を通じて提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 目安級診断プリント」「漢検 漢字 50 問プリント」ほか

・・・・・・・・2, 456, 303 部

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢字でわーく・わーく」「リアル脱出ゲーム」ほか

・・・・・・・・502, 191 部

**合計 2, 958, 494 部**

## Ⅱ. 理事会・評議員会に関する事項

2019年度の理事会・評議員会の開催状況は以下の通りである。

- ・理事会（決議の省略）

日 時：2019年4月9日（火）

同意者：理事総数13名、監事総数3名

- ・評議員会（臨時）

日 時：2019年5月8日（水）午後2時

場 所：当協会 京都本部 会議室

出席者：評議員9名、理事4名、監事2名

- ・理事会（定例）

日 時：2019年6月6日（木）午後1時55分

場 所：当協会 京都本部 会議室

出席者：理事9名、監事3名

- ・評議員会（定時）

日 時：2019年6月21日（金）午後2時

場 所：当協会 京都本部 会議室

出席者：評議員11名、理事4名、監事3名

- ・理事会（臨時）

日 時：2019年6月21日（金）午後4時

場 所：当協会 京都本部 会議室

出席者：理事9名、監事3名

- ・理事会（報告の省略）

日 時：2019年8月8日（木）

同意者：理事総数13名、監事総数3名

- ・理事会（定例）

日 時：2019年9月6日（金）午後2時

場 所：当協会 京都本部 会議室

出席者：理事9名、監事3名

- ・理事会（定例）

日 時：2019年12月6日（金）午後3時

場 所：当協会 京都本部 会議室

出席者：理事11名、監事3名

・理事会（定例）

日 時：2020年3月6日（金）午後2時

場 所：当協会 京都本部・東京事務所 会議室（ビデオ会議システム）

出席者：理事10名、監事3名

### Ⅲ. その他

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響）

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、協会の事業活動に広範囲に影響を及ぼすことが予想されます。影響の期間・規模等については予測が難しいところですが、厳しい環境が予想されます。

### Ⅳ. 後発事象

なし

2019年度年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しません。

2020年 6月

公益財団法人 日本漢字能力検定協会